校　長　　武井　正明

学校へ向かう車内の温度計は 27℃‼　あっという間に初夏になったような陽気だ。

今日は吹奏楽部の春季定期演奏会。

事前に部長さんから「心を込めて演奏します！ぜひお越しください！」と丁寧に書かれた案内状をいただいた。しかし、ちょっと当日まで行けるかわからなかった。それが当日運良く行けることになった。今日はどんな演奏が聴けるだろう。

これまで吹奏楽部の演奏は、主にコンクール。演奏者は極限の緊張との闘い。聴く方も演奏するわけではないが、本当に緊張する。鑑賞どころではないのだ。そして写真撮影は禁止。もともと写真よりも生で観るのが一番だとは思うが、やはり、この演奏者の真剣な眼差しや、動きを見てしまうと、可能な限り間近で撮りたくなる。今回は撮影も承諾を得て、勢い込んで開始を待った。

今回は定期演奏会ということで、部員の人たちの曲紹介で、曲の特長や聴き所を教えてもらえる。これは、ありがたい。そして聴く方は、いろんな曲を肩の力を抜いて楽しめる。

この日も、特に３人のマリンバ演奏は、輪郭のぼんやりしたプリズムのような音が次々に重なっていくうちにぼうっとしてきた。視線は鍵盤。カラフルな春色の球が鍵盤の上を気持ちよく、連続で跳ね上がっているように、私の眼に映った。

客席には卒業生の姿や、先生方、この春転出した先生や、県央地区の中学校吹奏楽関係者の方もいらっしゃった。地域の方々も多くいらしてくださった。吉中吹奏楽部への関心の高さが伺える。ありがたいことだ。

週明けの 21 日は新入生を迎えるウェルカムコンサートがある。

これも吉中春の風物詩。吉中、これからが春本番を告げる華やかな演奏がまた聴ける。吹部の演奏で春を存分に感じたい。